

岩崎嘉隆 (30)

岩崎くんが今乗ってるフェアレディ300 ZXは車両価格も含めるとカル〜ク1千万円以上という超ドレスアップカーなのだ。まずエンジンはエアフロメーターを取り外し、東名のD-BOXによるコントロールでT3Gタービン、トライアルオリジナルインタークーラー&コンピュータ&70mmマフラー、レビックというターボチューニングのポテンシャルをフルに引き出している。パワーは500ps、ATだってもちろんHKSの強化タイプだ。そしてフットワークもトライアルオリジナルサスペンションキットに17インチのパナレーシングG7+ビレリーP700Z。インテリアに目をやればレカロCSE牛皮×2、ナカミチフルオーディオシステム、フォーミュラTVというい

たれりつくせりのクルマなのだ。

しかし、岩崎くんは“スゴイヤツ”として登場してもらったのはこれだけじゃない。このクルマもスゴイのだが、これまで乗ってきたクルマもこれまたスゴイのだ。18歳になってすぐに免許を取って約12年。以来

いろいろなクルマを乗り継いできたわけだがノーマルなんてつまらない、いずれもチューンドカーというからびっくり。REあり、メカチューンあり、ターボチューンあり……。30歳前後の読者には懐かしいクルマもあるはず。この岩崎くんの車歴はまさにチューンドカーの歴史を見ているようだ。



→20歳/ グロリアSEL

この時のチューニングはデュアルマフラーのみでひと休み。誰でも1回くらいは落ち着いたクルマに乗ってみたいかな



↓19歳/ ブルーバードSSS

L18にソレ、タコ、デュアルといった当時大流行したチューニング。リアフェンダーを叩き出し、無理やりはめ込んだ、プットいハヤシストリートのホイールが懐かしいぜい

→22歳/ トランザム& ホンダ1100R

トランザムは7.4リッターのLS6エンジンに換えたカリフォルニア仕様。オーバーフェンダーがイカツイ!!。そしてこの時期、輸出用のホンダ1100Rにも乗っていた



←27歳/ スカイライン RS-Xターボ

FJ20ET改2.4リッター+ツインターボという最高速仕様。このクルマはカーロードでも以前取材したことがあるよ



↑18歳/ ギャランGTO GSR

免許を取って最初に買ったクルマがコレ。ソレ、タコ、デュアルで彼のチューニング人生がスタートした



↑18歳/ サバンナRX-3

当時、チューニングのベースエンジンとして人気を集めていたのが、L20、2T-G、12A。サイドボードにダンドラというメカチューンだ

大阪の街で見つけた凄いヤツ

☆これが、タクシーの無謀駐車の実体だ!!



大阪駅前ビルと新地の間にあるこの道路は、片方4車線もあるのに、PM11:00を境に、又アント、1車線になってしまうのだ。一度通ってみるとその実態がわかるが、とにかくスゴイ。これ要は、タクシーの無謀駐車に原因があるようだが、ひどい時には、このわずか100mの距離を通り過ぎるのに30分かかってしまうほど。何とかせにやー、いかん。

☆俺のは大阪でかい!!と豪語するスゴイヤツ

何がスゴイって、彼のイチモツほどスゴイものは又アーイ。写真で実物をお見せできないのは残念だが、とにかく、それを見てしまった女性は、ひきつけを起こしてしまうそう。想像では、直径5cm、オーバ20cmのサイズをぶら下げているようである。挑戦したい女性は、編集部まで!!

